



適合証明 ロゴマーク規程について

一般財団法人 食品安全マネジメント協会

業務推進部 西村

■ 適合証明 ロゴマーク規程について

■ これまでのロゴマーク関連文書

■ 組織向けの規程：

【JFS 監査及び適合証明プログラム文書Ver.2.1】
（『付属書3』に組織向け規程として掲載）

＊協会WEBサイト『規格・認証』ページに掲載



■ 監査会社向けの規程、ロゴマークデザインについて：

【JFS-A/B適合証明ロゴマーク取扱に係る要求事項】
（同文書内に【ロゴマークデザインマニュアル】掲載）

＊協会WEBサイト『監査会社専用』ページに掲載



■ 適合証明 ロゴマーク規程について

■ 今後のロゴマーク関連文書 **【6月7日 公表済】**

■ 組織向け、監査会社向けの規程：

【JFS-A/B適合証明ロゴマーク取扱に係る要求事項】

*** 協会WEBサイト『規格・認証』ページに掲載**

■ ロゴマークデザインに関する規程：

【ロゴマークデザイン規程】

*** 協会WEBサイト『監査会社専用』ページに掲載**

*** ロゴマークデザインの悪用防止のため**

【ロゴマークデザイン規程】は全体公開を控えております



研修機関向け

JFSM承認研修機関及び講師に係る承認基準文書Ver. 3.0.pdf (PDF | 334.9 KB)

JFSM承認研修機関初回登録審査規程 (PDF | 205.2 KB)

異議処理に関する規程

JFS-C認証プログラムに係る異議処理に関する規程 (PDF | 294.7 KB)

監査及び適合証明プログラムに係る異議処理に関する規程 (PDF | 240.4 KB)

ロゴマーク規程

JFS規格のロゴマーク取り扱い規程（適合組織・監査会社への要求事項）.pdf (PDF | 595.1 KB)

ロゴ関連ファイル

JFS-Aロゴ_白黒 [ai]

JFS-Aロゴ_白黒[PDF]

JFS-A-pattern [ai]

JFS-A-ロゴのみ [ai]

JFS-A-ロゴのみ[PDF]

JFS-Bロゴ_白黒 [ai]

JFS-Bロゴ_白黒[PDF]

JFS-B-pattern [ai]

JFS-B-ロゴのみ [ai]

JFS-B-ロゴのみ[PDF]

JFS規格セクターG-ロゴのみ（フードサービス） [ai]

JFS規格セクターG-ロゴのみ（フードサービス） [PDF]

JFS規格-DT-pattern（タイ向け規格） [ai]

JFS規格-DT-ロゴのみ（タイ向け規格） [ai]

JFS規格-DT-ロゴのみ（タイ向け規格） [PDF]

ロゴマークデザイン規程



■ 規定、デザイン規程 変更点一覧

■ 【ロゴマークデザイン規程】変更点

- ①『清刷の使用について』 記載箇所の移動
- ② フードサービス、DT デザインパターン掲載

■ 【JFS規格のロゴマーク取り扱い規程（適合組織・監査会社への要求事項）】変更点

- ①『適合組織向け要求事項』、『監査会社向け要求事項』の各文書を統合
- ②マークの使用方法に関する記載の追加
- ③使用範囲の拡大及び追記
- ④JFS監査及び適合証明プログラム文書Ver.3.0との整合
- ⑤『対象別指定事項』の追加

■【ロゴマークデザイン規程】変更点

①『清刷の使用について』掲載箇所の移動

【JFS-A/B適合証明ロゴマーク
取扱に係る要求事項】に
掲載していた内容を
『デザイン規程』側に移動

組織が実際に使う際に
確認しやすいように対応

(2) 清刷の使用[Ⓔ]

- ① 監査会社は、当法人から提供された清刷につき、「JFSM ロゴマークデザインマニュアル」に従い、解像度や色調など品質の低下を招かないよう適切に複製して使用しなければならない。[Ⓔ]
- ② 当法人が提供したデザインに変更（組み替え等）を加えて使用してはならない。[Ⓔ]
- ③ マークを縮小または拡大して表示する場合は、清刷の縦横比を維持し、これを変更してはならない。[Ⓔ]
- ④ 名刺等においてやむなく白黒表示とする場合は、「JFSM ロゴマークデザインマニュアル」に記載の白黒印刷用指定のカラーを使用するものとする。なお、適合証明書本紙における白黒表示は認めない。[Ⓔ]



■適合証明組織・監査会社への要求事項[Ⓔ]

1. 清刷の使用について[Ⓔ]

- ① 監査会社は、JFSM から提供された清刷につき、「JFSM ロゴマークデザインマニュアル」に従い、解像度や色調など品質の低下を招かないよう適切に複製して使用しなければならない。[Ⓔ]
- ② JFSM が提供したデザインに変更（組み替え等）を加えて使用してはならない。[Ⓔ]
- ③ マークを縮小または拡大して表示する場合は、清刷の縦横比を維持し、これを変更してはならない。[Ⓔ]
- ④ 名刺等においてやむなく白黒表示とする場合は、「JFSM ロゴマークデザインマニュアル」に記載の白黒印刷用指定のカラーを使用するものとする。指定カラー・白黒印刷用カラー以外の、二色刷りなどで使用してはならない。[Ⓔ]

なお、適合証明書本紙における白黒表示は認めない。[Ⓔ]

[Ⓔ]

■ 【ロゴマークデザイン規程】 変更点

②フードサービス、DT デザインパターン掲載

これまでは『監査会社専用ページ』に
別途 PDF・aiファイルのみ 掲示あり
今回『デザイン規程』にも同じものを掲載

***フードサービス・DT ロゴデザインの
現行のデザインや、指定内容などについて
一切変更ございません。**



■ 規定、デザイン規程 変更点一覧

■ 【ロゴマークデザイン規程】変更点

- ①『清刷の使用について』 記載箇所の移動
- ② フードサービス、DT デザインパターン掲載

■ 【JFS規格のロゴマーク取り扱い規程（適合組織・監査会社への要求事項）】変更点

- ①『適合組織向け要求事項』、『監査会社向け要求事項』の各文書を統合
- ②マークの使用方法に関する記載の追加
- ③使用範囲の拡大及び追記
- ④JFS監査及び適合証明プログラム文書Ver.3.0との整合
- ⑤『対象別指定事項』の追加

■【JFS規格のロゴマーク取り扱い規程】変更点

①『適合組織向け要求事項』、『監査会社向け要求事項』各文書を統合

『適合組織向け』は【プログラム文書Ver.2.1の付属書】

『監査会社向け』は【単独の規程】

として存在していたが、一つの規程としてまとめた

適合組織向け

付属書3 JFS 規格のロゴマークの取扱規程（適合組織への要求事項）

1. JFS 規格のロゴマーク使用の条件

JFS 規格の適合組織は、当該規格のロゴマーク（以下、「マーク」という。）を使用することができる。マークの下部に JFSM が発行した登録番号を記載する。なお、マーク使用の際には監査会社から了承を得た後、監査会社のロゴマークを併記してもよい。

2. マーク使用の範囲

別に定める「JFSM ロゴマークデザインマニュアル」に従い、適合証明を受けた規格に関する説明書、宣伝用資料、封筒、名刺等の印刷物、ウェブサイト等に使用することができる。ただし、製品にはマークを使用できない。

3. マークの使用期間

JFS 規格への適合証明を受けた日より、適合証明が取り消される日までとする。

4. マークの使用者の義務

（1）使用者は、関係法規、本規程及び「ロゴマークデザインマニュアル」を遵守するとともに、適合証明の趣旨に反した使用がなされないように細心の注意を払う義務を負うものとする。

監査会社向け

一般財団法人食品安全マネジメント協会（JFSM）

JFS-A/B 適合証明ロゴマーク取扱に係る要求事項

監査会社は、一般財団法人食品安全マネジメント協会（以下、「当法人」という）と「JFS-A/B プログラムに係る監査及び適合証明業務に関する契約書」（以下、「契約」という）を締結後、本文書の規定に従い、JFS-A/B 適合証明ロゴマーク（以下、「マーク」という）を使用することができる。
また、監査会社は、JFS-A/B 規格の適合証明を受けた組織（以下、「マーク使用者」という）に対し、法的な拘束力のある取決めをもって、下記 2. の事項を要求しなければならない。

1. 監査会社による使用

（1）マークの使用

- ①監査会社は、マークの管理方針を持たなければならない。
- ②適合証明書にマークを使用する際には、監査会社のロゴマークと必ず一緒に掲載しなければならない。

□③マーク下部には、当法人が発行した登録番号を記載の上、利用するものとする。

同文書に統合

JFS 規格のロゴマーク取り扱い規程 （適合組織・監査会社への要求事項）	発行日 2023-05-29	文書番号 JPR_101_07_R00_jsm
	改定日	改定番号 R00

JFS 規格のロゴマーク取り扱い規程（適合組織・監査会社への要求事項）

■適合組織への規程

1. JFS 規格のロゴマーク使用の条件

JFS 規格の適合組織は、当該規格のロゴマーク（以下、「マーク」という。）を、以下の要件を満たす場合に限り、使用することができる。
マーク使用の際には、監査会社から了承を得た後「監査会社のロゴマーク」を併記してもよい。

①マークを「JFSM ロゴマークデザイン規程」に従い使用する

②マークの下部に、食品安全マネジメント協会（以下、「JFSM」という。）が発行した登録番号を併記する

③マークと登録番号で「1つのマーク」として認識できるように配置されている

④マークに対し、対象のサイトが認識出来る状態にある（後述の併記文章での記載も可能）

⑤マーク下部に登録番号を列記して使用する場合、各登録番号の該当する適合証明範囲（サイト名、サイト全体が適合証明範囲ではない場合は製品群も含む）を併記する

⑥当規程の2～6項について承諾している

*登録番号列記例



適合証明番号① 適合証明番号②

適合証明番号② □ 適合証明番号② □

*併記例 JFS-800000000-00 : □□工場、JFS-811111111-11 : □□工場

JFS-800000000-00 : □□工場□製品群 : □□、JFS-811111111-11 : □□工場□製品群 : □□

2. マークの使用範囲

JFS 規格の適合組織は、各対象と掲載方法に対し、後述の対象別指定事項を遵守した上で、製品や二次包材、説明書、建物や車両、宣伝用資料、封筒、名刺等の印刷物、ウェブサイト等に使用することができる。

■【JFS規格のロゴマーク取り扱い規程】変更点

②マークの使用方法に関する記載の追加

■ ロゴマーク下部『登録番号』を『**枝番まで記載**』する旨 明記

■ 同企業内の2組織を

『**1つのロゴマークに列記して掲載する場合**』について記載



適合証明番号①

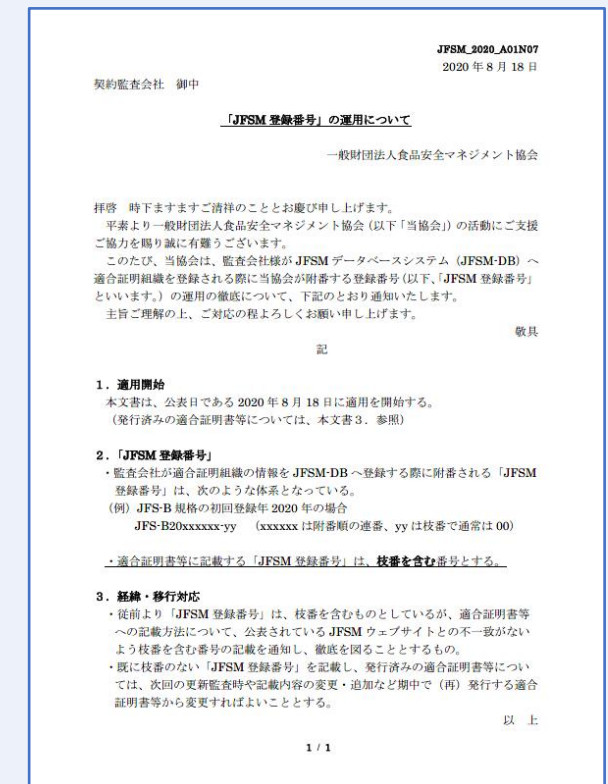
適合証明番号②



適合証明番号①

適合証明番号②

『**枝番まで記載**』については
2020年8月 通知にてご案内
(JFSM_2020_A01N07)



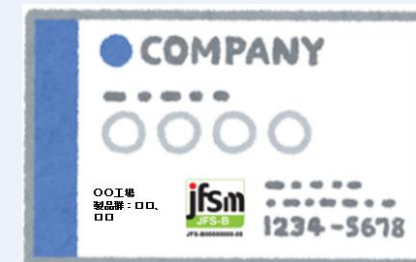
■【JFS規格のロゴマーク取り扱い規程】変更点

③使用範囲の拡大及び追記

- 指定事項（後述（5）対象別指定事項 参照）を遵守した上で

『製品本体、製品の包装紙、梱包用・輸送用段ボール』
に対する使用を可能とした

- これまでも使用は可能であったが、規程に明記はされていなかった
『自社配送トラック、社用車』
『適合証明組織と同企業、グループ会社の社員の名刺』
などの項目について追記



■【JFS規格のロゴマーク取り扱い規程】変更点

④JFS監査及び適合証明プログラム文書Ver.3.0との整合

■【JFS監査及び適合証明プログラム文書Ver.3.0】に含まれる

以下の内容について整合を図った

- ・適合組織のロゴマーク使用期間、一時停止時の対応 **(4.12.3(3))**
- ・監査会社による、適合組織への「JFS規格のロゴマーク取り扱い規程」の遵守 **(4.10(3))**
- ・監査会社による、適合証明組織のJFS規格のロゴマークの使用有無及び使用がある場合の適切性に関する定期・更新監査での確認及び監査資料への記録 **(4.5(4)⑮)**

■【JFS規格のロゴマーク取り扱い規程】変更点

⑤『対象別指定事項』の追加

- 製品本体にロゴマークを記載する場合を含め、
マーク使用者は 以下について 確実に対応頂く必要がある
 - ・製品認証ではない事
 - ・適合証明範囲の誤認を招かない事
 - ・その他協会の活動や信頼性に不利益が生じない事

各組織が適切に対応出来るよう、次の6パターンについて

『誤認防止のための併記文』を、組織の状況毎に決定できるフローを指示

■【JFS規格のロゴマーク取り扱い規程】 変更点

⑤『対象別指定事項』の追加

- ・製品本体、製品の包装紙、梱包用・輸送用段ボール
- ・適合証明組織外壁、適合証明組織向けの看板
- ・適合証明組織以外の建物外壁、適合証明組織敷地内以外の看板
- ・自社配送トラック、社用車
- ・適合証明を取得した事業所・工場（組織）に所属する方の名刺
- ・適合証明組織と同企業、グループ会社の社員の名刺
- ・チラシ、パンフレット、WEBサイト、製品説明書、POP類等

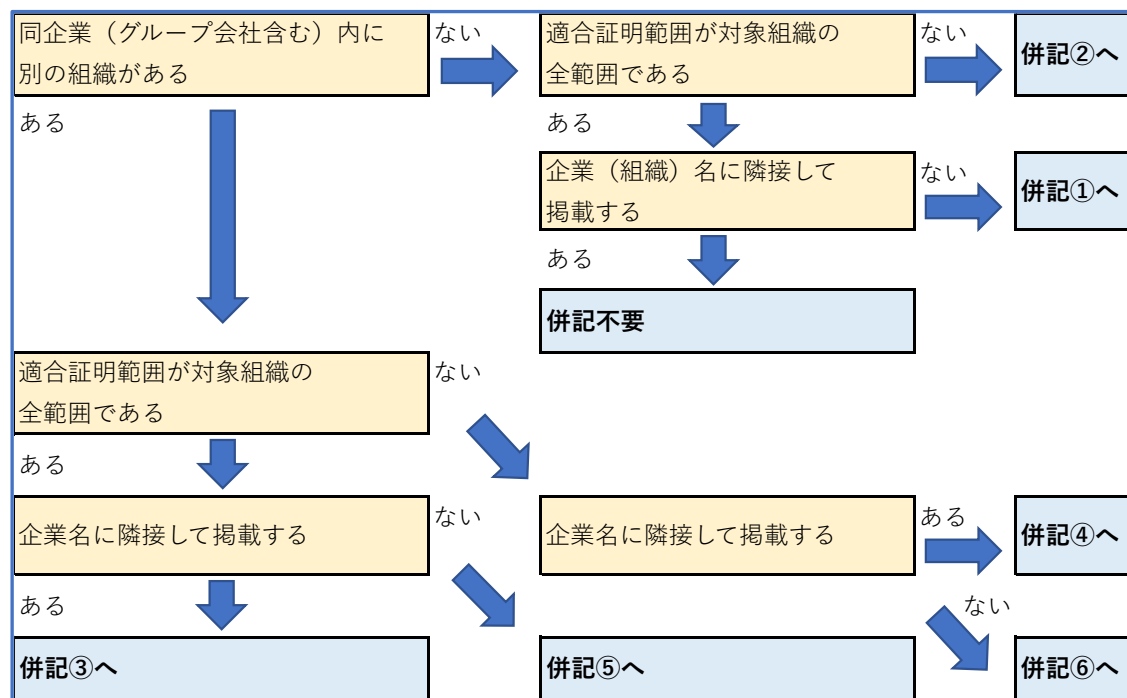
上記以外のロゴマーク使用の機会については

『JFSMに確認し、誤った使用が無いように対応しなければならない』と記載

■【JFS規格のロゴマーク取り扱い規程】 変更点

⑤『対象別指定事項』の追加：一例

『チラシ、パンフレット、WEBサイト、製品説明書、POP類等』使用検討時



併記①：適合証明範囲：株式会社〇〇

併記②：適合証明範囲：株式会社〇〇 製品群：□□、□□

併記③：適合証明範囲：〇〇工場

併記④：適合証明範囲：〇〇工場 製品群：□□、□□

併記⑤：適合証明範囲：〇〇株式会社〇〇工場

併記⑥：適合証明範囲：〇〇株式会社〇〇工場 製品群：□□、□□

＊併記内容については、これまでの使用方法と整合するように対応

■ステークホルダーコンサルテーション 実施概要

【JFS規格のロゴマーク取り扱い規程（適合組織・監査会社への要求事項）】

【ロゴマークデザイン規程】

2 案について、ステークホルダーコンサルテーションを実施

＊依頼時は現行規程との対比表を添付

- ・期間 : 2023年3月29日～4月13日
- ・対象者 : 契約監査会社 41社、契約研修機関 8社、ステークホルダー委員 9名
- ・結果 : 【JFS 規格のロゴマークの取扱規程】計17件の質問・意見有
【ロゴマークデザイン規程】 計2件の意見有
全件確認、対応済み

■ステークホルダーコンサルテーション 実施概要

■ご意見の一部

・製品や二次包材に対し、白黒以外の単色印刷は可能か

→ 不可。【ロゴマークデザイン規程】に指定カラー、白黒からの変更は不可と記載

また『指定カラー・白黒印刷用カラー以外の、二色刷りなどで使用してはならない』と追加

・使用状態に問題が無いか、監査時に確認を行うべきか

→【プログラム文書Ver.3.0 4.10 適合証明書の発行】より

『(3) 監査会社は、適合組織がJFS規格のロゴを使用する場合、適合組織が「JFS規格のロゴマーク取り扱い規程」を遵守していることを確実にしなければならない』
に係る対応は必要となる

＊事前文書確認、現地監査などタイミングは指定しない

＊工数増加の場合、内容を加味し組織に了解を得る事)

■ステークホルダーコンサルテーション 実施概要

■ご意見の一部

・監査で使用状態の違反を確認した場合、是正はどのようなになるか

→違反内容による

『登録番号の枝番不足』であれば次回確認で可（今も『更新時等に直す』としている）

登録番号自体抜けている、必要な併記文無しなどの場合は

可能な限り早急に対応を求める

・製品にロゴマークの使用がある組織が取消となり、製品回収に応じない場合はどうなるか

→日販品で、ごく数日のうちに流通から無くなることが想定されるような場合は

回収まで求めないことは考えられる

その他で対応が頂けない場合、最終的には『マークの不適切な使用などにあたっての措置』

項に沿って対応するものとなる